

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート

目次

1. みえ森と緑の県民税基金積立金事業	2
2. 災害に強い森林づくり推進事業のうち、災害緩衝林整備事業	3
3. 災害に強い森林づくり推進事業のうち、土砂・流木緊急除去事業	4
4. 森を育む人づくりサポート体制整備事業	5
5. みえ森と緑の県民税市町交付金事業	6
対策1 土砂や流木を出さない森林づくり	
対策2 暮らしに身近な森林づくり	
対策3 森を育む人づくり	
対策4 木の薫る空間づくり	
対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり	
6. みえ森と緑の県民税制度運営事業	11

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区 分	新規・ 継続	事業開始年度	平成25年度		
事業名	みえ森と緑の県民税基金積立金事業						
基本方針区分	-						
対策区分	-						
予算額等	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	42,074,000	797,139,000	1,059,506,000	1,120,600,000	1,110,199,000	1,112,805,000
	決算額(円)	34,466,475	797,150,407	1,059,517,509	1,120,605,485	1,110,251,628	
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する施策に要する経費の財源に充てるため、みえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。						
事業目標	-						
事業内容	平成30年度のみえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。						

【中間進捗】

中間進捗状況
積立てた基金を財源として各種事業を実施し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進しています。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部治山林道課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区 分	新規・ 継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	災害に強い森林づくり推進事業（のうち、災害緩衝林整備事業）					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	343,982,000	524,375,000	588,700,000	303,903,000	302,555,000
	決算額（円）	269,149,572	418,782,353	562,646,124	298,898,222	
事業の目的	崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流沿いの森林等において、土砂や流木の発生・流出に対して緩衝効果を発揮する森林の整備を行います。また、それらの事業投入によってどの程度の効果があるのかを明らかにするために、科学的な視点での研究・調査を実施します。					
事業目標	実施箇所数：19箇所					
事業内容	崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流沿いの森林において、土砂や流木の発生・流出に緩衝効果を発揮する一定幅の森林について調整伐等を実施し、緩衝機能を高める森林整備を行います。 1 事業実施 (1)溪流内の倒木や枯損木、根の浮き上がった木、劣勢木等、流木の発生源となる危険木の伐採 (2)溪流沿いの立木における調整伐 (3)伐採木の山腹斜面での土砂止め等への利用、又は林外への搬出 2 事業の効果検証にかかる調査・研究（林業研究所及び大学との共同研究）					

【中間進捗】

中間進捗状況	<p>1 事業実施箇所について、昨年度から実施候補地にかかる実施計画の作成を行い、森林所有者の土地使用承諾取得に取りかかるなど、早期発注に取り組んだ結果、1月18日現在、19箇所全ての契約を実施し、そのうち5箇所が完成しました。</p> <p>2 事業の効果検証について、事業実施による表土流出抑制効果、成長促進効果、根系抵抗力を検証するための調査を継続して実施しています。</p> <p>3 事業のPRについて、各県庁舎及び市町村庁舎において、現場写真等の展示を行い県民の皆さんへの理解に努めています。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	実施箇所数（箇所）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部治山林道課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	災害に強い森林づくり推進事業（のうち、土砂・流木緊急除去事業）					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	102,529,000	114,868,000	131,384,000	87,864,000	99,425,000
	決算額（円）	69,691,083	143,239,939	130,809,982	87,272,623	
事業の目的	崩壊土砂流出危険地区流域内に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものについて、除去を行います。					
事業目標	実施箇所数：8箇所					
事業内容	崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流の集水区域内において、溪流内や治山施設に異常に堆積した土砂や流木について、搬出・除去を行います。 (1)溪流内や治山施設等に異常に堆積した土砂や流木等の搬出・処理 (2)必要に応じて簡易施設、土捨場等の設置					

【中間進捗】

中間進捗状況
1 事業実施箇所について、7箇所を平成31年1月18日現在で契約し、そのうち5箇所が完成しました。また、残り2箇所の計画については、平成31年2月5日に入札を予定しており、全体で9箇所の整備を進めています。 2 事業のPRについて、各県庁舎及び市町村庁舎において、現場写真等の展示を行い県民の皆さんへの理解に努めています。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量 実施箇所数（箇所）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	森を育む人づくりサポート体制整備事業					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	10,812,000	19,503,000	30,000,000	27,495,000	30,000,000
	決算額(円)	10,243,655	18,528,287	28,147,691	27,339,790	
事業の目的	「県民全体で森林を支える社会づくり」に資する取組として「森を育む人づくり」を進めるため、森林環境教育や木育、森づくり活動に取り組みやすい環境を整備し、みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により地域や学校等で行われる当該取組にかかる活動を促進します。					
事業目標	県有施設を活用し、木製遊具の常設(2か所)を行います。また、木育の一環として、三重とこわか国体のデモンストレーションスポーツとなった、木の道具を使ったニュースポーツ「クッパ」を普及するため、関係団体と連携し、普及指導員の養成を行います。					
事業内容	みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により学校や地域で実施される森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を開設し、指導者育成を行うほか、広域的・総合的なサポートを行います。 1 みえ森づくりサポートセンター 森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる総合窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を開設し、森林環境教育指導者や森づくり技術者の育成を行うほか、きめ細かい各種対応など、広域的・総合的なサポートを行います。 2 森林環境教育・木育体制整備 (1)みえ子ども森の学びサミットの開催 (2)木育の展開					

【中間進捗】

中間進捗状況	みえ森づくりサポートセンターの運営を委託し、森林環境教育指導者養成講座、スキルアップ講座の開催や指導者「森のせんせい」のネットワーク構築を図るための座談会を開催しました。また、学校からの要望に応じ、出前講座を8箇所で開催しました。また、夏休み期間中に子ども写真教室を開催するとともに、第5回みえの森フォトコンテストを開催しました。木育の促進を図るため、木の遊具が体験できる「ミエトイ・キャラバン」を12か所で開催しました。森づくり活動参加者向けの刈払機安全衛生教育講習等を行いました。学校における森林環境教育や木育の活動発表の場として「みえ子ども森の学びサミット」を開催しました。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量	実施箇所数(箇所)	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区 分	新規・ 継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分1：土砂や流木を出さない森林づくり）					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	5,844,000	5,356,136 （ほか基金積立 3,878,664）	6,522,637 （ほか基金積立 331,897）	3,320,923	-
事業の目的	「災害に強い森林づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	-					
事業内容	地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 対策区分1 土砂や流木を流さない森林づくり 土砂や流木によって人家や公共施設に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進めます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
全5事業のうち、2事業が実施中であり、着手率40%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区 分	新規・ 継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分2：暮らしに身近な森林づくり）					
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり					
対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	105,728,400 （ほか基金積立 7,134,903）	103,525,440 （ほか基金積立 17,120,788）	83,817,835 （ほか基金積立 2,720,000）	160,882,547	-
事業の目的	「災害に強い森林づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	-					
事業内容	地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 対策区分2 暮らしに身近な森林づくり 生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしに関わりの深い森林について必要な対策を進めます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
全32事業のうち、5事業が完了し22事業が実施中であり、着手率84%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区 分	新規・ 継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分3：森を育む人づくり）					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	3. 森を育む人づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	37,198,769 （ほか基金積立 1,210,000）	61,932,462 （ほか基金積立 27,400）	94,594,606	111,896,194	-
事業の目的	「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の实情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	-					
事業内容	地域の实情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 対策区分3 森を育む人づくり 森林や緑を大切に思い・育む人づくりのため、児童・生徒をはじめ様々な県民に、森林や木材について学び・ふれあう機会を提供するなど、森と県民との関係を深める対策を進めます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
全35事業のうち、9事業が完了し22事業が実施中であり、着手率89%となっています。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	取組市町数（市町）	
	取組事業数（事業）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区分	新規・ <u>継続</u>	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分4：木の薫る空間づくり）					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	4. 木の薫る空間づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	72,750,950 （ほか基金積立 20,632,418）	163,013,940 （ほか基金積立 25,599,960）	139,143,118 （ほか基金積立 21,207,712）	306,308,124 （ほか基金積立 82,748,840）	-
事業の目的	「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	-					
事業内容	地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 対策区分4 木の薫る空間づくり 木づかいを通じて森林を支えるため、県民の暮らしや公共空間において、建築からエネルギーまで幅広い用途での木材利用を促進するなど、木材と県民との関係を深める対策を進めます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
全40事業のうち、8事業が完了し23事業が実施中であり、着手率78%となっています。

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費（千円）		
事業量	取組市町数（市町）	
	取組事業数（事業）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区 分	新規・ 継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり）					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	-	-	-	-	-
	決算額（円）	10,931,000 （ほか基金積立 2,374,000）	9,930,000 （ほか基金積立 3,074,040）	39,719,760 （ほか基金積立 6,854,000）	41,367,160 （ほか基金積立 19,110,416）	-
事業の目的	「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の实情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	-					
事業内容	地域の实情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 対策区分5 地域の身近な水や緑の環境づくり 地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守る活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備など、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深める対策を進めます。					

【中間進捗】

中間進捗状況
全17事業のうち、5事業が完了し9事業が実施中であり、着手率82%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------

平成30年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成30年 8月 1日
	中間	平成31年 1月25日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成30年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税制度運営事業					
基本方針区分	-					
対策区分	-					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	16,068,000	4,014,000	4,985,000	5,500,000	7,739,000
	決算額(円)	9,466,302	3,013,833	3,434,537	4,664,570	
事業の目的	「みえ森と緑の県民税」の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知、みえ森と緑の県民税評価委員会の運営等を行います。					
事業目標	みえ森と緑の県民税評価委員会の円滑な運営 平成30年度評価委員会開催回数：3回以上					
事業内容	みえ森と緑の県民税評価委員会の運営ほか みえ森と緑の県民税を活用した事業結果等について調査審議する「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営するほか、リーフレットなどの啓発物等を作成します。					

【中間進捗】

中間進捗状況	<p>税の活用を広報するため、過年度の事業結果を掲載したリーフレットを作成し、市町等に配布するとともに、ショッピングセンターに配架しました。「平成29年度事業成果発表会」を開催し、当該税を活用した事業の成果を市町担当者と共有しました。 「みえ森と緑の県民税評価委員会」を開催し、同委員会から平成29年度基金事業の実施後の評価及びみえ森と緑の県民税条例に基づく施行状況の検討について三重県知事あてに答申いただきました。 平成31年度以降もみえ森と緑の県民税制度が継続することを、パネル展示等により広報しました。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【実施結果】

区分	実績	備考
事業費(千円)		
事業量 委員会の開催(回)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告後に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。
-------	--------------